

2026 年度 一般選抜Ⅱ期 数学

▶ 出題の意図

本試験では、高等学校までに学習する数学の基礎的な知識・技能を身に付けているか、また、それらを問題解決の場面で適切に活用できるかを確認します。特に、数学Ⅰ・数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル）で学習する主要な定理や公式について、その意味を理解し、適切に活用する力を重視します。

問1では、各単元の基礎的な内容を幅広く出題し、基本事項を正しく理解するとともに、基本的な計算を正確に行う力を確認します。

問2では、「数列」に関する問題を出題します。与えられた条件を基に具体的な場合を考察し、そこから法則性を見いだして、定理や公式を適切に活用する力と、正確に計算する力を確認します。

問3では、「図形と計量」「図形の性質」に関する問題を出題します。問題文や図から条件を正確に読み取り、余弦定理や垂直二等分線などの知識を活用して、必要な情報を整理し、適切な方法で問題を解決する力を確認します。

問4では、「微分法と積分法」に関する問題を出題します。接線の方程式を求めるとともに、曲線と直線などで囲まれた領域の面積を求めることを通して、微分・積分の基本的な理解と正確な計算力を確認します。